

関係機関及び関係各位

## 『日中言語文化』第15号投稿募集について

日中言語文化推進会誌『日中言語文化』は、日本国立国会図書館の蔵書として登録され、かつ国際標準逐次刊行物番号 (ISSN 2435-273X) を取得した定期刊行物です。本誌は主に日中両国の言語、文化 (文学、歴史、哲学等を含む) などの社会科学系研究、及び教学経験や報告などに関するオリジナル原稿を掲載しており、掲載原稿はすべて複数名の「外部から招聘された専門家」及び編集委員会による査読を経ております。

本誌は、日本国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) に「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE) での電子論文公開を申請し、厳格な審査を経て、J-STAGE オンラインシステムでの論文公開許可を取得しております (DOI を含める)。本誌に掲載された学術論文は、J-STAGE でのオンライン公開後、J-STAGE オンラインシステム及び日本国立国会図書館の検索システムにて検索及び閲覧ができます。

また同時に、編集委員会は微信 (WeChat) 公式アカウント「日中言語文化」を公開しており、本誌論文の要旨を公式アカウントに随時アップロードするようにいたしております。J-STAGE システム上の本誌ホームページアドレスも、本誌の微信 (WeChat) 公式アカウントに掲示しますので、本誌の公式アカウント「日中言語文化」をご登録くださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。

本誌への投稿資格を有する者は原則として本会 (日中言語文化教育推進会) の会員としておりますが、非会員の投稿も受け付けております。掲載された原稿に関しては印刷費用として、会員1万円、非会員2万円を本会に納めていただくことと定められております。具体的な納入方法は別途お知らせいたします。

本誌編集委員会ではこの度、2022年度発行の『日中言語文化』第15号の原稿を募集致します。投稿者は以下の規定にしたがって投稿していただくようお願いいたします。

### 1. 投稿規定

添付資料「『日中言語文化』投稿規定」(日本語版、中国語版) をご参照ください。

### 2. 投稿方法

メール添付の形式で下記メールアドレスに原稿をご送付ください。

[ntgb.rizhong2022@gmail.com](mailto:ntgb.rizhong2022@gmail.com)

原稿送付時は、メール件名の欄に「日中言語文化第15号投稿」とご明記ください。

### 3. 投稿提出締め切り

2022年8月31日 (水)

### 4. 投稿採用通知

第15号の掲載通知と審査報告結果は、原則として、2022年9月にメールでお送りいたします。

採用された原稿に修正が必要な場合、修正原稿の提出締め切りは9月30日とさせていただきます。

## 『日中言語文化』投稿規定(日本語)

2019年12月21日制定

2021年9月17日改定

『日中言語文化』は、国立国会図書館の“ISSN 2435-273X”を取得した学術雑誌である。主に日中両国の言語、文化（文学・歴史・哲学などを含む）、社会科学的研究、教育経験や報告を掲載する。学術論文は外部審査員及び編集委員会による査読を経て採用される。

投稿資格は、原則として本会(日中言語文化教育推進会)の会員である教員や学生に限る。ただし、会員以外であっても一定の投稿料を納めることにより投稿が可能となる。博士課程在籍者は、指導教官の推薦書添付、及び指導教官によるコピーチェックと査読を経た原稿のみ投稿可能とする。修士課程在籍者は、指導教官との連名投稿、あるいは指導教官の推薦書添付、及び指導教官によるコピーチェックと査読を経た原稿のみ投稿可能とする。

### 日本語論文投稿要領

- 一. 本会が指定する投稿締切日を厳守すること。
- 二. ページ設定を B5 用紙(182mm×257mm)、空白を上下左 25mm、右 20mm、36 行×40 字に設定し、論文は原則として、図・表・注釈・参考文献などを含めて 20,000 字を越えないこと。研究ノート、教育研究レポートは原則として、図・表・注釈・参考文献などを含めて 10,000 字を越えないこと。
- 三. タイトルは長すぎないこと。サブタイトルを付けても良い。中国語による要旨を 300 字以内、キーワードは 3～5 個とする。タイトル、要旨、キーワードが中国語である場合、別途日本語あるいは英語のタイトル、要旨、キーワードを提供する必要がある。
- 四. 著者名は本名を使うこと。複数著者の場合は、著者名に間隔を空けること。
- 五. 文字フォント：日本語は MS 明朝、中国語は Simsun(宋体)、英語・数字は Times New Roman に設定する。

文字サイズ：論文タイトル	MS 明朝・中央揃え・太字・14 ポイント
サブタイトル	MS 明朝・中央揃え・太字・12 ポイント
章タイトル	MS 明朝・中央揃え・太字・12 ポイント
節タイトル	MS 明朝・左揃え・太字・11 ポイント
見出し	MS 明朝・左揃え・太字・10 ポイント
本文	MS 明朝・左揃え・10 ポイント

- 六. 文献や詩などの引用は、独立した段落にする。MS 明朝・10 ポイント。訳文には、注釈にて原文及び訳書の引用出典を明記すること。
- 七. 基金や科研費などについて、文末におき、( ) [ ] をつけること。
- 八. 注釈は、各ページの下に注を入れ、アラビア数字をつけること。文章全体で通し番号とす

る。同一ページで同じ注釈の場合は「同上」を使っても良い。ページが異なる場合は、ページを表記すること。例：<sup>2</sup> 同上、○頁」、<sup>3</sup> 同 1、○頁」

注釈例：

著者＋出版年＋タイトル＋文献名(刊行物名・題名・巻号数)＋出版地＋出版社＋ページ  
九. 参考文献は文章の最後に掲載し、注釈同様に表記するが、ページを省略する。先に日本語文献を著者の五十音順、中国語文献は著者のピンイン順に表記する。番号に[ ]を付ける。

参考文献例：

著者＋出版年＋タイトル＋文献名(刊行物名・題名・巻号数)＋出版地＋出版社



